

大分工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	都市・環境工学概論
科目基礎情報					
科目番号	R05C117		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	都市・環境工学科		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	(教科書) 澤孝平・嵯峨晃・川合茂・角田忍・荻野弘・奥村充治・西澤辰男 共著, 「環境・都市システム系 教科書シリーズ1 シビルエンジニアリングの第一歩」, コロナ社; K-SEC教材 (参考図書) 太田敏一・松野泉共著, 「防災リテラシー第2版」, 森北出版株式会社				
担当教員	姫野 季之,東野 誠				
到達目標					
(1) 社会基盤施設としての橋の役割を理解することができる。(定期試験) (2) 測量の役割を理解することができる。(定期試験) (3) 地盤分野の役割を理解することができる。(定期試験) (4) 建設材料の役割を理解することができる。(定期試験) (5) 河川技術の役割を理解することができる。(定期試験) (6) 都市計画の役割を理解することができる。(定期試験) (7) 環境問題について理解することができる。(定期試験) (8) 情報技術の役割を理解することができる。(定期試験) (9) 課題を通して理解を深めるとともに, 継続的に自主的な学習をすることができる。(課題)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)
到達目標(1)の評価指標	社会基盤施設としての橋の役割を理解することができる。また, 我が国の代表的な社会基盤施設とその特徴についても理解することができる。		社会基盤施設としての橋の役割を理解することができる。		社会基盤施設としての橋の役割を理解することができない。
到達目標(2)の評価指標	測量の役割を理解することができる。また, 測量の歴史や種類についても理解することができる。		測量の役割を理解することができる。		測量の役割を理解することができない。
到達目標(3)の評価指標	地盤分野の役割を理解することができる。また, 地盤調査の重要性や土の状態諸量についても理解することができる。		地盤分野の役割を理解することができる。		地盤分野の役割を理解することができない。
到達目標(4)の評価指標	建設材料の役割を理解することができる。また, 建設材料の種類や性質, 用途, 重要性についても理解できる。		建設材料の役割を理解することができる。		建設材料の役割を理解することができない。
到達目標(5)の評価指標	河川技術の役割を理解することができる。また, 生活用水や洪水災害と河川との関わりについても理解することができる。		河川技術の役割を理解することができる。		河川技術の役割を理解することができない。
到達目標(6)の評価指標	都市計画の役割を理解することができる。また, 土地利用計画や都市交通施設の計画についても理解することができる。		都市計画の役割を理解することができる。		都市計画の役割を理解することができない。
到達目標(7)の評価指標	環境問題について理解することができる。また, その対策についても理解することができる。		環境問題について理解することができる。		環境問題について理解することができない。
到達目標(8)の評価指標	情報技術の役割を理解することができる。また, 設計から施工までにおける情報技術についても理解することができる。		情報技術の役割を理解することができる。		情報技術の役割を理解することができない。
到達目標(9)の評価指標	課題を通して理解を深めるとともに, 継続的に自主的な学習をすることができる。		課題を通して理解を深めるとともに, 継続的に学習をすることができる。		課題を通して理解を深めるとともに, 継続的に学習をすることができない。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育目標 (B2)					
教育方法等					
概要	本科目では, 土木工学とはどのような学問で, どのような仕事に就けるのかを学ぶ。また, 土木工学を学ぶためには, これからどのような基礎知識が必要になるかも説明する。土木工学は, 我々の生活に身近で, 便利で安全, 安心かつ健康で快適な国土 (社会基盤) を作っていくための総合的な学問である。土木技術は, 学生諸君の身の回りに当たり前のように溢れている。本科目を通じて学生諸君が社会基盤を観察し, 考え, 興味を持つきっかけになることを期待している。 (科目情報) AE科目/RM科目				
授業の進め方・方法	基本的には教科書および配布資料, 講義スライドを使って授業をし, 基礎的な知識を修得する。また, 必要に応じて授業担当教員が作成した課題を与える。 (事前学習) 教科書や事前に配布された資料について一度目を通し, 自身で理解しづらい箇所について事前に把握しておくこと。				
注意点	(履修上の注意) (1) ALH等で質問にくる際には, 教科書と配布資料を必ず持参すること。 (2) 授業中に疑問に思うことや分からないことがあれば質問してよい。質問は歓迎する。また, こちらからも理解を促すような質問を心掛けるので, 間違いを気にせずに自分の考えを答えること。必要に応じてクラス全員で議論し, 理解を深めていくことを期待する。 (自学上の注意) (1) 授業前に予習をし, 授業後には十分な復習に努めること。 (2) 課題等を通して理解を深めること。				
評価					

		14週	まとめ	これまでの学習内容について振り返り，特に関心を持ったことについて自ら調べてまとめることができる.		
		15週	学年末試験	到達目標(7)，到達目標(8)，到達目標(9)		
		16週	学年末試験の解答と解説	わからなかった部分を把握し，理解することができる.		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合						
		試験	課題		合計	
総合評価割合		80	20		100	
基礎的能力		30	10		40	
専門的能力		50	10		60	